

行革集中改革プランの更なる取り組みとあわせ、 第4次総合計画の実現と財政健全化を推進



柴田町長

平成21年度 町長施政方針

米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な不況が発生し、金融危機と景気の悪化を受けて、生産・収益が大幅に減少する中で、「雇用情勢が急速に悪化するなど、大きな社会問題が生じています。本町の財政状況も非常に厳しく、もはや危機的な状況に陥っていると言っても過言ではありません。

このような状況のもと、本町においては、行財政改革集中改革プランの更なる取り組みとあわせ、第4次総合計画の実現と財政の健全化を図らなければなりません。同時に、社会情勢に対応するためには、助け合う、支えあつ、住民協働のまちづくりが必要です。職員の意識改革に取り組み、課題が何なのかを常に考え、その解決策を迅速に講じることが重要であると考えています。

私は、これらの課題に真正面から取り組み、全力で行政運営に努め、この厳しい状況を克服し、住み良い町づくりを進めます。

○ 子育て支援

少子化対策として、小学校就学前までの医療費の無料化や妊婦の健康管理の充実及び経済的負担の軽減を図るため、妊婦健康検査の助成を拡大します。

○ 教育の振興

学校教育、生涯学習、芸術文化などの振興を通じて、心豊かな人間性を備えた人材教育を図ります。

○ 福祉対策

高齢者対策として、緊

急通報システムや在宅介護支援センター運営の委託事業などを行います。

障害者福祉については、福祉タクシー料金助成事業などを続けるとともに、「障害者福祉計画」の見直しを行います。

○ 農林・商工の振興

鞍手町水田農業ビジョンに基づき、米の計画的生産や麦・大豆の本格的生産の推進など、水田農業構造改革に努めます。

商工関係では、町民の交通手段の確保に努め、併せて商工会による特産品の開発や産業まつりの助成などを通じて商工の振興に努めます。

○ 町の基盤整備

インターチェンジ建設事業や遠賀川架橋建設事業と併せて、公共下水道事業の促進など町の基盤整備を進めます。

固定資産評価審査委員の 選任に同意

許斐善憲氏、添田東輝氏の任期が3月15日で満了することから、両氏を再任することに議会の同意を求められ、議会は同意しました。



そえだはるき
添田東輝 氏 (70歳)

現住所 古門1438番地
任期 平成21年3月16日から
平成24年3月15日まで



このみよしのり
許斐善憲 氏 (71歳)

現住所 中山1208番地2
任期 平成21年3月16日から
平成24年3月15日まで